夕刊
磐城新聞
十二月十九日發行
（日曜祭日翌日休刊）

潮聲俳座　其ノ二

祝賀記念俳句集

四季混題（香雨の二字又は一字結び）

老鼠堂機一宗匠撰

佳作十章

笹鳴や香座閣窓の薄日さし　雨蝶子
萠出る春の色香や初若菜　萩夢
船雇ふ香取鹿島の小春哉　萬袋
競馬香茶歌舞伎庵の遅日哉　雨蝶子
香魚を焼く間に夕立の上りけり　同
袂の志きりに痒し雨の宵　文狂
移り香の小袖うらみて春惜む　同
香具山の雲につつまる茂りかな　萩夢
海棠や名香焚る雨の窓　同
鳴立や雨の孤村夕灯し　東洋

再考三方巻列

紫陽花や明るうなりし甍の雨　江亭
香盆の埃りうとまし木地炉縁　雨蝶子
叡感にかなふや雪の香炉峯　文狂

追加

蝶も來て其香いたたけ菊の酒　七十六叟　機一

旭峯扉　素秋宗匠選

秀逸

叡感にはゆるや雪の香炉峯　文狂
水郷や雨、潤ふ花菖蒲　北窓
夏草の喜雨に色增す平野哉　石城
宇治の月小幡の雨や、時鳥　萬袋
雨一過月も心も澄む夜かな　香雪
庵安し五風十雨の後の月　紅箋
雨晴れて葉に曇りなき芭蕉哉　十里
朝晴れに菊の香高し明治節　北窓
喜壽の宴黄菊白菊香りけり　竹羊
雨晴れて朝日きらめく紅葉哉　長貫
亂菊や小虫むらがる、雨上り　二葉
老松に流るる風の香りけり　松堂
片側は早雨霽れて春の雪　北窓
菊の香や朝臣内待の歌縫　江亭
陽炎や土の香匂ふ雨後の畑　萩夢
急雨一過月に青田の戰きふり　文狂
雨遠き空や雲雀のほしひまま　同
菊の香や東籬に翁枝を畏く　松堂
春風に蝶草の香そなつかしき　長貫
日章旗得たり花火の香の強き　守穗

五客

水を背に香取鹿島の小春哉　萬袋
菊の香や日本晴れの明治節　紅箋

香やせんと仰くや松の月朧　文狂
海棠や名香薫る雨の庫裡　萩夢
菖蒲の高き香りや五月晴　北窓

三方逆位

弓の腰伸はす神の香や冬至風呂　紅箋
菊の香や壽祝ふ賜杯かな　樂山人
天盃に湛ゆる屠蘇の香味かな　紅箋

追加

菊の香やつきせぬ宿のめでたけれ　素秋

晋雪庵　機柳宗匠選

秀逸

蝶十章

蝶舞ふや宵の小雨の地に煙る　東洋
山吹に雨しと〱とそよくなり　逸郎
雨を呼ぶ雲うつりゐる泉かな　石城
湯豆腐にかはす猪すし雨の宵　晃村
想ひ出す甘き乳の香や雛の聲　紅箋
雨晴れの淺間に秋の雪白し　江亭
茄子畑やゆかり色濃き雨上り　東洋
かけ稻の乾く香りや雨上り　江、亭
雨欲しきことも語りて扇かな　文丘
菖蒲の高き香ありぬ五月晴　北窓

三才逆位

木犀の香に澄む雨の庵哉　思村
梅の宿白出度香にて包まれぬ　晩霞
鮓はよゝなれたり軒の通り雨　文狂

軸

不老不死の藥の香あり喜久の酒　機柳

時代警語

○智者は我が力の及ばざる事に備ふ……（ピサ　ラス）

○善人は危難に遭ひて益々善なる事猶香氣の壓し碎かれ益々香ばしきが如し……（ロジャース）

○智者は疑ひ且つ愼しむ……（ホーマー）

○最善の人は如何なる罪の斑迄をも避く……（ジョンソン）

○愚者は默する能はず……（デマラタス）

拈華微笑

愁雲滿天、歔欷滿地。けふ西牧伍長の湯本町葬

◇

猛射を浴びて責任を痛感す。と男子の本領だ

◇

血みどろな受驗準備。當人と先生と父兄と忍苦の三重奏

◇

漏救の不徹底。濫救の惰民製造　何れにせよ面倒な仕事ではある

初冬雜詠（一）

島田忠夫

○大津海岸

朝がらす下りてあそべる砂濱に霜しろく置くは寂しきものを

朝がらす歩み寄りつつ二つなれ寒々と深き冬の海かも

このねぬる朝の渚に見ゆる山高き低きに雪ふりにけり

朝濱の砂ふみてゆく音さむし日のさし初むるの遠き雪山

昨（きそ）の雨あがりて雪となりけらし目に見ゆる山みな白くあり

12月20日

△新後撰和歌集成る（嘉元元）△佛國元大統領ルーズ氏死す、享年九十一（昭和四）△ナポレオン三世の自立、是より先二月一日の夜朝野の名士をエリゼー宮殿に饗宴したる後、反對議員七十八名を捕縛、次で已れに不利なる者を或は牢獄に投じ或は國外に放ち極力兵威を以て巴里を平定し、此日及二十二日を以て改正憲法の大綱を票決せしむ、是に於てルイ、ナポレオン事實上の專制君主となる（一、八五二）

一日一禪

○

雪深々處秋猿移
雪遠遠峰訪客歸

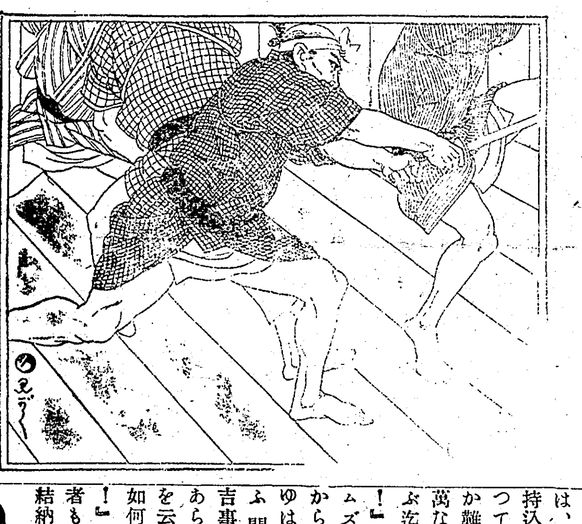
講談　俠艷　女長兵衞

東京　斯波南叟

（魚崎湖畫）

（九三）

寺西閑心横手の障子を押開いて見ると、其處は劍術の道場で一目に見おろされる座敷、道場には川越の萬助、橋場の喜次郎、三河島の長八、太作、鐵六、運助周藏を始めとして、二十七人の人々○『お面！』△『お小手ッ』□『まだ〱！』何と云ふ勇ましい掛聲が手に採るやうに聞える、閑『餘り出來る奴も居らん樣だが、精一杯勵むやうだから、追々は上達も出來るだらう、斯う門人を取立てるところが女にしては豪いな』槇『男だから出來る藝で、女では斯うした眞根は出來ない、長兵衞は正しく男だ』二人は何處までも思つた事を言つてゐる、其處へお露が茶を運んで來た。露『まことに失禮ではございますが、主人は他に來客中、少し手放し兼ねた事がございます、聊か手間取れるかも知れませぬが御用捨をお願ひ仕ります、何うぞ御緩りお遊び下さいます樣にと、主人が申しましてございます』閑『あゝ左樣か宜しい、今日は折入つた話して參つた、心置きなく用を濟まされる樣にと云つて下さい』座り込みで長兵衞のしツぽを押える積り、其內に酒肴を持出し兩人を應致します、夫れは皆お露の取持だ。お露が下へ降りた間に　閑『先生あの娘は却々如才なく働く、只の奉公人では無い樣に見受ける、長兵衞內々あの女を愛して居るのではござるまいか』閑『あはゝゝア女が女を愛してどうなる、馬鹿を言はつしやい、其んな事があるものか……』閑心何う云ふところで見込をつけたか何處までも女と信じ切つて居る……此日長兵衞が手放し難いと云つた用向は、それはお露の身の上に就てゞございます、本家米澤町の今井屋の番頭吉藏とおつゆを夫婦にして淺草へ丸八の野龐を掛けさせる、其話しは美濃屋卯兵衞の盡力に依つて着々進み、且ツ家の買入れも濟んで、今日は結納取交せの日であります、出來合ひ野合でない限り、儀式は夫れ相應の事をしなくては成らぬ、結納物を整へる相談の最中だつたから全く長兵衞は其場を離るゝ事が出來ない、居なければ用が足りないから、止むを得ず寺西野崎の珍客を待たせて置いて其方を片付けて居る、何しろ美濃屋卯兵衞が結納を持つて行つて又戻つて來なくては成りません、根岸からの往復もあるし、第一今井屋の方で待兼て居る、漸く事が整つて美濃屋を送り出し、夫から寺西野崎に對面　長『誠にお待たせ申して濟まなかつた、何分寄處ない義であつたので：サア〱何もございませんが』閑『イヤ〱斯うした大層のお持てなしに預かつて氣の毒、容子を見ると人の出入りも多い樣に承知する、何かござつたのかな！』長『失禮なお話にお話し申すが、實は是れなる露を他へ嫁入りさすに就て今日結納の取交せを仕る、其義の爲め長くお待たせ申し嚥かしご退屈でございましたらう、平に……』閑『オ、然うか、それはお目出度い事で此上なしの喜びだ、サ、一ッ』長『恐れ入りました、頂戴を仕る』閑『今日は長兵衞、其方にチト內談があつて罷越したのだがな……』と閑心おつゆの方を見る、內談だから居ては邪魔だと云ふらしい、長兵衞は、ハテ此の爺いさん何を持込んで來たのか、二人揃つて來たところを見ると何か難件が生じたか、厄介千萬な爺いさん　長『おつゆ呼ぶ迄下へ行つてゐるが好い！』露『ハイ心得ました』ムズ〱してゐたところだから、好い幸ひにしておつゆはトン〱下へ行つて終ふ　閑『長兵衞今日は家內に吉事がある、定めし吉日であらうな』長兵衞妙なことを云ふと思つたが　長『左樣如何にも吉日でございます！』閑『それは倘更だ、拙者も吉事を持込んで參つた結納と云ふ事でな……』。



ラヂオ

…二十日（日曜）…

仙臺 JOHK

△前九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇A 榮養料理（日の丸雜煮…主料理、大根の膾…副料理）榮養研究所
△九、三〇A（子供の時間）お話（クリスマスの贈物）寺田まち子
△一〇、〇〇 修養講座（四恩に就て）眞宗木邊派管長男爵木邊孝慈
△一〇、四〇A 講演（多事なりし本年の航空界）東京飛行學校長陸軍航空兵少佐石田昉雄
△正午A 時報、氣象通報 今日午後の番組豫告 告知事項
△〇、四〇A 放送舞臺劇（女鳴神）阪東秀調、阪東簑助一座
△一、三〇 寶生流謠曲（土蜘蛛）
△二、〇〇A 三絃歌謠曲
△二、三〇 掛合噺（二人羽織）曾我廼家蝶八郎、壽美榮、櫻川彌壽呂
△三、〇〇A 長唄（二人椀久）唄…杵屋勝左、勝左智、勝伊和
△三、四〇A 氣象通報
△三、五〇 經濟市況
△六、〇〇B（子供の時間）名作物語（巖窟王）白鳥座
△六、三〇A ラヂオ講座（エリミネーター受信機の故障と直し方）AK技術部小林謙三
△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告
第四回在滿同胞慰安の夕
△七、三〇C 一、慰問の辭…名古屋聯合分會長、同青年聯合團長、愛國婦人會愛知支部副長
△七、五五C 二、吹奏樂…名古屋放送樂團
△八、二〇C 三、筑前琵琶…市太郎ヤイ 安部旭榮
△八、四五C 四、尺八俗曲獨奏 加藤溪水
△八、五五C 浪花節（召集令）東家樂燕
△九、四〇A 時報 氣象通報 番組豫告

新聞紙に問題の世界的怪力美人團特別實演必ず一見を乞ふ!!此世界一の女傑に優る飛入者には賞金五百圓を呈上

大力女の出演………!

一チャールストンダンス
一アメリカワルツダンス
一ロシヤコザツクダンス
一ニグロダンス
一ジプシーダンス
外日本舞踊
フランス式角力
六尺九寸のアフリカ土人の珍奇藝數種
エロとグロの交錯せる珍奇藝數種

アンネ・ダプーシー孃　體重…四十五貫
マリー・ベルトマン孃　體重…三十八貫
アフリカ土人　ジョン・アンソン氏　身長…六尺九寸
其他數名出演

アンネーダプーシ孃一行

新興帝キネ特作時代劇
おしろい狐
吉頂寺光　望月禮子　共演

東亞キネマ社連續時代劇
旗本六法組　完結…お犬樣篇
青柳龍太郎、澤村勇、東千代子　共演

東亞キネマ製作現代映畫
紅唇なやまし
青木繁・大井正夫　小川雪子・櫻富士子　共演

御入場料　大人二十錢　中等生十錢　小人五錢

十二月十九日ヨリ
世界館

七五三にぜひ
大人になつてから小供時代の姿を見たいのは人情です。再び來らぬ幼少時代の可愛い御寫眞を撮つて保存してやるのは親さん方の御情けと思ひ升。ぜひ御宮參りの御歸りがけに御立寄り下さいまし。御祝ひの爲に當館も特に勉强いたします。
ライト寫眞館
平町才槌小路一番地（田町大通）
電話五三五番

內科、小兒科　花柳病科　入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番

本年最終の大廉賣
十二月十七日ゟ三十日迄十四日間
實用家具漆器雜貨
賣出し中に限り日用雜貨類均一賣場特設
十錢均一
二十錢均一
三十錢均一
五十錢均一
價格以上の優良品堀出し物澤山あり……！
數に制限あり
御早いが御德で御座います
年末年始の御贈答には丸本の商品券の御利用を

三方桐タンス	七、〇〇ゟ	裁縫板足付	二、〇〇ゟ
檜釣洋服タンス	一五、七〇ゟ	張板	二、〇〇ゟ
本箱	一、五〇ゟ	正月用屠蘇揃	三、五〇ゟ
テーブル引出付	三、〇〇ゟ	屠蘇用銚子	一、八〇ゟ
机丸足二ッ引	一、八〇ゟ	正月用盃臺付	一、五〇ゟ
椅子	一、三〇ゟ	洗朱塗會席膳十枚	八、〇〇ゟ
腰掛	一、五〇ゟ	洗朱塗吸物椀十個	一、五〇ゟ
組立書棚	一、〇〇ゟ	黑塗蒔繪付衣桁	一、八〇ゟ
唐木卓二尺五寸角	五、〇〇ゟ	菓子器丸形	、三〇ゟ
桐丸火鉢	二、〇〇ゟ	槌徑尺八	一、〇〇ゟ
大神宮	一、七〇ゟ	茶ビツ	一、五〇ゟ

（配達無料…但し賣出し中に限り）
丸ほん家具店
平町三丁目　電三五九番

滿洲から

本社の慰問に對する謝狀一束

休養中戰友の死を知り入營以來の追憶に耽る

率直に草した纒綿の一通信

玉川村出身　山野邊清君

今回の滿洲事變に際して色々と御心配に預り其の上高重なる御新聞迄下され戰地の何よりの樂しみです次に滿洲事變の中

最激戰たる江橋、昂々溪附近の戰鬪の概略を書き御知らせ致します、時は十月初旬我が大隊は南兵舍に居つた、或る兵舍に於て軍人慰問のため浪花節、活動寫眞を觀た、各下士兵卒は非常に喜び長い戰地の勞も忘れた、之も終り皆床に入つた、折しも出動の命令皆緊張の體を以て準備を大至急午前零時出發、直ちに北方に向つて汽車は進行中我々は

何處に行くか知れない、而し十一月五日午後七時着いた處は江橋驛始めて戰況を聞いた時軍人の喜こび一通りでない、直に戰地に向つた、然るに地勢も惡く嫩江地帶は水溜り行軍困難午後九時大興東南方の高地に着く敵は間斷なく射擊し實に物凄い情況である。其の夜は散兵壕を掘り夜を徹した、午前九時我が野砲は

連續射擊　飛行機の爆彈投下、步兵は攻擊前進命令下る、一齊に進擊す、敵彈は雨か霰の如く實に何と云つて良いか解らない、小生等は第○中隊第○小隊の第一分隊として右第一線であつた、接近の度每死傷者は殖る、苦戰に苦戰を以つて午前十一時敵の第一陣地を占領す、此の時自分は心身共に疲勢せしも敵を二三人も突刺したが如何に敵とは云ひ

氣味の惡いものである、戰鬪を終つて休み居る折中田上等兵戰死の聲、自分の親兄弟とも賴み入營以來親切嗚呼異鄉の嚴寒なる我が同胞人の影さへ無い地に戰死を遂げ我が軍隊の引上げたる後の有樣を頭に思ひ感極まり涙止めるを得ない、其の後衣布氣村落に宿營す此處にて十日間滯在、今度は昂々溪附近の敵は堅固なる陣地を工築し抵抗の報有り

我が軍は　關東部の第○師團全部に○○師團の一部を三軒房附近に集中して十一月十七日戰鬪開始、其日は矢張り散兵壕に夜を徹した、然るに嚴寒正に零下三十五度地下二尺も凍結し地を掘るに困難を極む、明十八日午前八時總攻擊の命下る、各隊は一齊に前進を起した、我が小隊は聯隊の右第一線敵の眞正面に突擊した彈丸は雨の如し

我が野砲　の彈煙空を卷き太陽さへ掠める程であつた、午前十一時高地を領す、敵は十米位接近する迄射擊し手擲彈を投げ實に勇敢なるものであつた、而し直ちに殲滅す、之より追擊するに至つた、それから約八里或部落迄追擊した。然るに兵士は長距離の行軍其上嚴寒

凍傷患者　實に哀れなものである、其の翌早チチハルに入城、十日間滯在、二十九日出發、十二月二日奉天着此の時歡迎は何十萬の市民停車場に黒山を築き萬歲天を破るが如し、自分もまるで故鄉にでも歸つた如き思となり戰地の思ひ出の話を語り夜を刻む、而し今後如何に變化するか知らず大いに緊張して居るのである、先づは

簡單に戰　況を御知らせ御禮にかへます、益々國家の爲死を以て盡さん。

猛射を浴び乍ら一段責任感を強調

◇敵前救護活躍の實況

（錦村出身）金成戸右衛門君

―日々貴社發行の新聞御送附下されまして陣中に故鄉の情報を得られる事を深く感謝して居ります。

◇轉戰茲に七十餘日去る三日午後六時半歸來致しまして兵舍の人となりました若干の暇を見出しまして御禮申上る事を御容許下さい小生大興、昂々溪の戰鬪に參加致しまして幸に今日迄無事なるを得たる事は當に鄉土諸賢の御庇護と御後援に依る事と深く感謝し心に徹し申居ります、御蔭を以て過去の戰鬪に在りても彈丸來雨の中に十一名の

◇負傷兵救護　し看護兵としての任務人命救助の聖職を遺憾なく遂行し得たる事を大なる誇と存じて居ります、第一戰部隊と共に附隨して攻擊戰に於ける看護兵の任務は實に至難な事を充分に體得致しました。それだけに誇を感じて居ります（語弊が有るでしようかも知れません）如何なる地形にせよどんな地點であつても負傷兵を

◇發見した時　に看護兵として中隊唯一の自己として生死を超越した責任觀念の中にはつきりと自己を意識してどんな猛射を浴びやうとも第一に前進し接近するのが我々看護兵であります繃帶、止血等の手當は實に防寒具を裝置してゐる自己と負傷兵で意の樣になりませんでした、併し幸に今日迄生き延びましたからには此後共に

◇是非鄉土の　諸賢の期待に背かず盡忠の大義に立脚して君國の干城としての本分を盡す覺悟です。先は御禮申上ます。不一（十二月九日）

脾肉の歎！

病氣靜養中の

四倉出身新妻君

―去月十九日迄の戰鬪は皆樣の御援助の下に無事軍務に從事致し候も不幸にして目下病床に臥する身となり殘念至極に存じ候、全快の曉は再び戰線に立ち皆樣の御期待に添ふ如く務むる覺悟に御座候、先は御禮迄草々（旅順衛戍病院外科室にて）

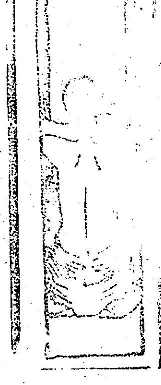
西牧砲兵伍長の雄魂を續て哭く

けふ盛大な町葬執行

新立頓の激戰で名譽の戰死を遂げた湯本町出身砲兵伍長西牧重政氏の町葬は今十九日午後一時から同町舊小學校庭で同町縣社溫泉神社々司佐波古直元　諏訪神社同金士重隆、惣善寺森文雄勝行院楠正隆兩住職其他數名の神官僧侶により神佛兩式で執行したが會葬者は在鄉軍人會外各種團体及び町民多數小學校生徒其他上町の自宅から式場迄續く程の盛況であつたが郡町村長會長伏見平町長の弔詞左の如し

君今春滿洲守備の重任を帶び渡滿の命を受くるに當り當時予は聯隊に至りて親しく君等の壯途を送り爾來滿蒙の權益を擁護せらるる將士の勞苦を想ひ常に安否を念頭に懸けたり然るに今春偶々北大營の事變突發せるを以て專ら君等の武運長久を祈るところありしに暴虐なる支那軍隊は各地に蜂起して我が軍に戰を挑むに至れり君所屬聯隊と共に各地に轉戰出沒常なき敵を屠りて偉功を樹て十一月六日大興の戰鬪に於て衆に抽んで勇戰奮鬪遂に敵彈に當りて名譽の戰死を遂げたるの訃音に接し哀悼極りなし嗚呼悲哉然りと雖も君が忠勇壯烈なる最後は能く戰友の志氣を發奮せしめ君の仇敵たりし馬占山の率ゆる大軍は君の所屬師團に依りて擊滅せられ滿蒙の天地日章旗の翩飜たるを見るに至る君以て瞑するを得べし君戰死の報一たび傳はるや國を擧げて哀悼の誠を致し君の鄉土は町葬を以て君の英魂を慰む男子の本懐之に過ぐるものなからん予本日葬儀に臨み英靈を弔ふ尙くば饗けよ

各地情痴ニュース



△別莊大盡。最近京都市東山區山科御陵原西町の別莊に日夜艶かしい妙齡の美人が多數出入りするので不審を抱き取調べた處右は全部某カフエーの女給で別莊の主と稱する男は京都市中京區大宮姉小路上る美術友染業岸本庄太郎方店員井上久（三五）で東京大呉服店の衣類品一萬五千圓を横領して大盡風を吹かして居たものと判明した

△哀れ人妻。名古屋市東區千種町茂佐裏西村シヅ子（三四）は一年前南區瑞穂町吉田某方に嫁入りしたが家風に合はぬと云ふ廉で姙娠四ケ月の重身で離緣となり。家に歸つた處兩親は『二度と家へ歸るな』と辛く當り快く迎へて呉れないので家にも居れず自殺の目的で縣廳前をウロ〳〵して居る處を所轄署員に救はれた。

△失戀自殺。兵庫縣明石市外垂水町小田字川西宇治電山田停留所西方の草原に人事不省となり倒れてゐる一見女給風の女があるのを通行人の子供が發見斯くと屆け出たので係員出張手當を加へた結果漸く一命を取り止めた。右はオペラバック在中の書面で失戀の結果毒藥自殺を計つたものと判明した、然し未だ何れの者とも判明しない。

△危い！女の舌。京都市伏見區竹田町上久保竹田街道西側加茂川堤防を伏見署巡査が偵邏中全身泥まみれの若い男女が痴話喧嘩をしてゐるので同行取調べた處女は下京區宇賀部町朝鮮料理店京市館女給金英子（三〇）男は同區東九條松の木町朱在龍（二九）で同夜男から同所で情交を迫つたが女が應ぜず接吻に事寄せて女の舌をかみ切つた事判明した。

△若い夫自殺。京都市東山區本町十三丁目直次郎次男村尾松之助（二八）は自宅奧座敷で猫いらず約十グラムを嚥下し自殺を圖つたが家人に發見され應急手當を加へた結果幸ひに一命を取止めた。原因は同人の內緣の妻松本富江（一七）が姙娠して親元へ歸つてゐるうち兩親から離緣話が出たのでそれを悲觀した結果だと。

將校團から慰問使派遣

本郡からも二名

郡下の在鄉軍人將校より成る縣將校團では明春早々在滿將士慰問使を派遣する事に決定し本郡からも二名の代表者を送るべく目下郡在鄉軍人分會で人選中である

□□□□□ 理髮組合總會　郡組合總會は一月十日午前九時から平署會議室で開催六年度決算明年度豫算を討議し了つて優良店舖の表彰を行ふと

門標を出して下さい

歲末首の臨時配達使役上

平郵便當局の希望

各戶に於ける門標の掲出は郵便電報の送達遲延配達不能を防ぐ上に於て必要なるのみならず廣く徵稅警察衛生等の各公益事務を初め各方面に涉り其利便尠からず殊に通信並年賀郵便物が著しく激增し臨時に配達者を使役する歲末歲首に在つては一層之れが完全を必要とするので門標未掲出の家では成るべく戶主及家族者其他町名番地等を加記し取急ぎ掲出せられ度い旨平郵便當局の希望とある

師父亦身を削らるる血みどろな受驗準備

同情すべき寒中の大試錬

平町各小學校の明春受驗生二百七十餘名は每日暗くなる迄火の氣もない敎室に居殘り夜も夜で入浴も食事もそこ〳〵に受持敎師宅へ出掛け十時頃手も足も冷えきつて歸宅するなど血みどろな兒童の受驗準備振りに父兄も敎師も身を削らるる思ひで殊に全幅の信賴を繫がれてゐる受持ち敎師は如何にして最も効果的に導くべきかに腐心し昨十八日第二校某訓導がこの準備夜學の爲めに白銀町附近に適當な家屋を求めて居たなど受驗準備に現はれる師弟の情愛涙ぐましいものがある

眞相を精査して無茶な同情は避ける

當局の貧兒救濟

貧困兒童並缺食兒童等の名稱は之等兒童間に面白からぬ影響を及ぼすので學校當局では町役場の手により本人以外には絕對知らしめぬ樣極秘裡に調査を進めてゐるが之等の中には家族の病氣其他同情すべきものが大部分を占むる中にも自分では相當な資を盡し子供を顧みぬと云ふ不心得な親達もあるらしいので其邊精査の上歲末救濟の宜しきを誤らぬ方針であると

七十七錢の辻强盜に求刑通り懲役六年

平支部の判決言渡し

內鄉村大字御台境字草刈平の山道で同村熊坂フヨ（五五）を襲ひ七十七錢入の蟇口を强奪した田村郡瀨川村生れ前科二犯伊藤金八（三八）の强盜事件は昨十八日平支部に於て求刑通り懲役六年を言渡された

女中入用
一、十七才迄　一名
炭礦社宅（裁縫見習出來マス）
申込　平町越の家向へ　蓮沼

けふの判決　去る四月十七日より十月五日迄の間に內鄉村宮草野利一其他十六軒から自轉車及リヤカー等を竊取八月十日午前○時頃鎌田遊廓前に於て盆踊見物中の柳町川上ノブの腕時計を强奪した平町新田前二十六大工職中山安太郎（二〇）に係る竊盜强盜事件は今十九日平支部で懲役三年半を又小野田炭礦からケーブル線價格五百七十七圓を竊盜せる磐崎村上湯長谷稚名淸永（三八）は平區に於て同上八ケ月を何れも言渡さる

○○○○○○ チフテリア發生　內鄉村綴堀坂一八小泉トメ（二）はヂフテリアと決定昨十八日隔離された

納稅組合決算　平町仲間町納稅組合では昨十八日午後六時から同町横山キク方で決算會を開催町當局から酒井助役、須藤書記臨席の上納稅に關する質疑應答の座談を交し了つて役員の改選をなした結果左の如し

佐藤六三郎、砂森定男、眞弓萬助、荻采造、曾我新太郎、佐藤幸太郎、西山秋美、大樂峯次郎、鈴木菊松、松本充弘

青雲院名儀の通帳拾得　平町二丁目二一大森ユキは今十九日午前九時頃自宅附近の道路で好間村大舘僧侶青雲院名儀の二百六十餘圓記入の郵便貯金通帳を拾得即刻平署へ屆け出た

桑園改良施設　郡下に於ける桑園改良事業は郡蠶業同業組合の指導督勵により豫期以上の成績を收め當初の計畫通り既に百七十町步の改良を了り殘る六十町步も年度內に完了す

□□□□□ 遠藤技師來郡　縣遠藤技師は今十九日來郡藤原川を踏査し勿來、泉外磐崎村の失業者救濟道路の竣功檢査を行ふと

在滿兵士慰問金品寄贈

役場其他各團体扱昨報後分

（十錢）櫻本ミツ、水竹英光、片寄於次、鈴木龜雄、柳井金治、荒川幸一、西郡國太、遠藤榮三郎、渡邊傳之助、四國屋、同內中村、金代淸保、藤田孝一、榎本侑助、片平長志、佐川捨次郎、酒井作太郎、安積英治、藤田幸吉、村上利平、國分喜代子、中川定作、東海林守平、草野角吉、大越秀次郎、椎貝卯之吉、前田ミツ、大木庄太郎、鈴木平吉、相馬乘次郎、柴野茂平、小賀坂正、阿部運平、鈴木角治、伊藤熊一、飯田一三、坂本利助、根本武雄、工藤元吉、吉田繁男、岡崎ツルヨ、志賀金作、小叶芳太郎、藥谷鶴壽、渡邊久善、木田芳之助、鈴木淸松、吉田松吉、村上駒吉（藥品四種）國分藏之助（手拭三本）石城聖戰社（眞綿十枚）渡邊一二（手拭一反）郡司吉男、佐久間染物店（手拭一本）相馬寅造（キヤラメル二十個）鈴木道男（越中褌十本）芳賀沼源太郎（眞綿二十枚）板倉作次郎（化粧石鹼）中野商店（晒一反）齊藤勝治　（以下次號）

懸賞川柳發表

題『無盡趣味普及』

佳句　八十論（その二）（記念品送呈）

磐城新聞紙上に懸賞川柳募集の廣告を發表しましてから二十日間、本社宣傳部の机上には每日應募句が山積しまして、縣內は勿論、遠く宮城、山形、茨城、東京各方面からまで投句があり、集句一千に及んだことは、新聞紙の信用も窺はれると共に一面無盡の社會的浸潤を物語つてゐることを感じられました。

投句の中には從來の川柳に於ける讀込と感違ひをされた方があつて沒書となつたのは殘念でしたけれど『無盡趣味普及』と云ふ難かしい題を捉へて巧みに無盡と人生との交涉を表現された句が多くあつて、無盡趣味普及の上に貢獻する所のあつたのは喜ばしい事であります。

當社の宣傳部は、川柳に對しては全くの素人そろひなので、選句に際しては當業者としての專門的意見を述ぶるに止め、實際の選は、地方知名の川柳大家に顧問となつて頂いたことを申上げておきます。

發表は本日より六日間に亘り本紙上に連載されることになりましたが、磐城新聞の斡旋により某畫名大家の漫畫を添へることが出來ましたのは感謝に堪えません。（漫畫は每日二三個宛挿入）入選句に對しては、心ばかりの記念品を十二月二十五日頃に送呈する豫定であります。

（湯本信用無盡株式會社宣傳部）

不景氣に掛けた無盡で一しのぎ　平　曲水
樂しみは盡きず無盡と稱しけり　同　嶽男
晚酌の定量を越す割戻し　同　同
針尖で今日も日掛をつつき出し　同　同
大黑のマーク貧乏錢は無い　東京　獅子郎
信用も融通もつく無盡金　米澤　梅月
掛金を餘計働く無盡趣味　同　同
無盡金ニコ〳〵みんな働かせ　同　同
當籤の其の日父さんエビス顏　平　かね子
當籤の通知書女房神棚へ（畫）　同　同
滿會の無盡で一家伊勢詣り　同　谿水

商賣の信用無盡つけて呉れ　磐崎　狂水
當り籤無盡の味を忘れ兼ね　同　同
お互に扶け合つてる無盡金　同　同
あてにせぬ無盡がとれる年の暮　同　同
成功は貯めた資本の威力なり　米澤　鐵之坊
其の日から貯まる〳〵に鞭打たれ　同　同
三年は夢だが貯まるのは事實　同　同